

# 大動脈瘤(上行置換・弓部置換・ベントール)の手術を受けられる患者さんへ

(作成者: クリニカルパス専門部会)

患者ID  
氏名

担当医  
担当看護師  
配布日

	入院: 1病日	2病日	3病日	4病日	5~6病日	7~9病日	10~13病日	14~18病日: 退院	
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3~4日目	手術後5~7日目	手術後8~11日目	手術後12~16日目
達成目標	・手術の経過について理解できる		・四肢麻痺の症状がない ・重症不整脈がない ・創部の腫れや発赤がない ・痛みによる苦痛がない						・退院指導の内容を理解できる
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します			・胃薬を開始します(朝食後)(7日間)					
手術		手術							
注射			・点滴をします			・点滴を抜きます			
検査	・採血 ・身長・体重測定		・採血 ・レントゲン	・採血 ・レントゲン	・採血 ・レントゲン	・採血/レントゲン (手術後3. 4日目)	・採血/レントゲン/心エコー/心電図 (手術後6日目) ・CT(手術後7日目)		
			・体重測定(毎日)		・毎食前に血糖測定をします(毎日)		・排尿毎に尿量を測ってください(毎日)		
処置	・前胸部から膝までを除毛します ・寝る前に下剤を内服します	・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます		・フットポンプを外し(手術後5日目)、弾性ストッキングを脱ぎます(手術後7日目)		
			・手術室で創部に管(ドレーン)を入れます	・創部を確認し、必要時に消毒、ガーゼ交換を行います		・創部の管(ドレーン)を抜きます ・創部を確認し、必要時に消毒、ガーゼ交換を行います		・医師の指示後、酸素飽和度モニターを外します	・医師の指示後、心電図モニターを外します
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます						
			・吸入をします(1日3回)						
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・絶飲食です		・医師の指示後、少量の飲水から始め、1000mlまで飲水できます。軟飯食を開始します	・朝から常食になります				
活動・安静	・制限はありません	・病棟内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・ベッドの頭元を上げたい時や便意がある時は、ナースコールでお知らせください	・制限はありません ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください					
清潔	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きは介助します	・身体を拭きます	・洗髪をします	・洗髪をします		・シャワー浴ができます	
リハビリ				・診察後、リハビリテーションが始まります					
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います ・集中治療室入室について説明します							・「胸腹部大動脈瘤の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・集中治療室に入室する際に持参する物品をまとめてください	・手術衣に着替えます ・全ての荷物を看護師と一緒に家族控室のロッカーに入れます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・集中治療室に入室します ・入室中のご家族は、集中治療室前の家族控室をご利用ください	・状態に合わせて病室に移動します					
			・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください						

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。